

まつもと じゅん
松本純

中区・磯子区・金沢区
**まちかど
政治瓦版**

平成19年2月1日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂

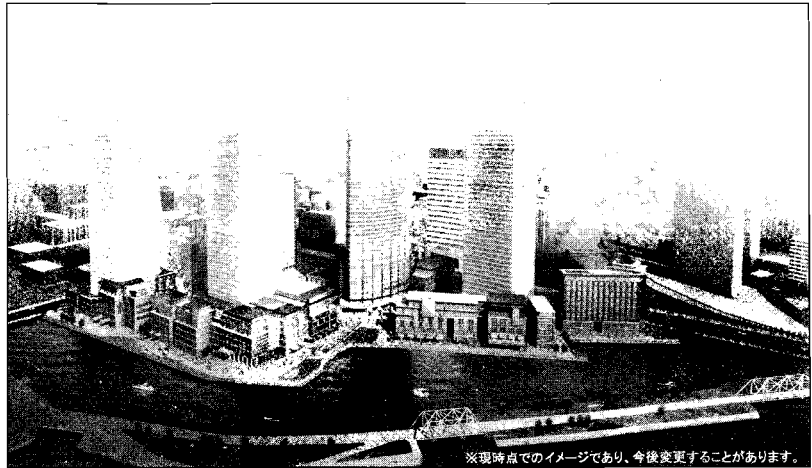


2月号
2007年
No.48

松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶検索キーワード「松本純」

北仲地区再開発、横浜の新しい魅力創出へ！ 歴史・文化風土にふさわしいデザインを

森ビル、大和地所などが進める北仲通北地区の再開発が動き出しました。オフィス・住宅・ホテルが入る4棟のタワー（高さ200m1棟、150m3棟）と商業・文化施設となる多くの低層ビルからなる巨大プロジェクトです。



※現時点でのイメージであり、今後変更することがあります。

北仲通北地区再開発の完成予想のイメージ写真（今後変更することがあります）

森ビルといえば、六本木ヒルズ、表参道ヒルズなど、その再開発手法が社会的な話題となり、にぎわいの創出には実績があります。しかも再開発される北仲通北地区（帝蚕 倉庫跡地など）は、JR桜木町駅、みなとみらい線馬車道駅に近く、ランドマークタワーに向かい合う水際線に位置するという絶好の地です。

横浜は2009年に開港150周年を迎えますが、横浜経済活性化への期待が高まります。

景気の回復がいまひとつ実感できないという昨今の経済状況の中では、みなとみらい21地区への日産本社移転などとあわせた相乗効果が望まれています。

そうした歓迎の一方で、地元の関内地区からは懸念の声もあがっています。

建ち並ぶ超高層ビルが大きな壁となって街や人に圧迫感を与えるというのです。さらに、開港場として発展し、今も歴史的建造物が多く保存されている関内に、そのビルの形状がふさわしくないといいいます。

馬車道商店街や関内を愛する会などは、再開発協議会に要望書を提出しました。横浜市の都市美対策審議会も、この問題について論議を始めました。開港の地・関内にふさわしい再開発のデザインとはどのようなものなのか？

横浜らしい、横浜でしかできない新しい街の創造とは…。今こそ、街の創意を結集するときではないでしょうか。

新春合同総会及び 懇親会のお知らせ

日 時●2月26日(月)午後6時開会

場 所●ロイヤルホールヨコハマ

(横浜市中区山下町90)

電話045-641-1122)

会 費●3,000円

ゲスト●中川秀直自民党幹事長(予定)

松本議員の国会レポート ③⑦

平成18年

【12月22日(金)】

- 午後3時 ●ハンブルク経済振興公社・池田氏と
面談
- 午後6時30分 ●総務省予算報告会
- 午後8時 ●旧国会対策委員会正副委員長慰労会

横浜港とドイツのハンブルク港が姉妹港提携して15周年となる平成19年、ハンブルクでは横浜をアピールするイベントが計画されているそうです。そのために横浜市や横浜の港湾関係者に、この催しへの協力の橋渡しをする役目を依頼されました。実は元町商店街もハンブルクのクロッセンブライヘン、コロナーゲン両商店街と姉妹商店街の関係を結んでいるんですね。横浜とは縁の深いハンブルクのためにお役に立ちたいと考えています。

平成19年

【1月4日(木)】

- 午前10時 ●横浜市会新年賀詞交歓会
- 午前11時 ●自民党横浜市連役員初顔合わせ
- 正午 ●馬車道商店街新年賀詞交換会
- 午後2時 ●横浜船主会・横浜港運協会新年賀
詞交換会

横浜の港湾関係の皆さんには朗報がありました。横浜港南本牧埠頭では平成13年に国内最深の水深16m国際海上コンテナターミナルが供用開始されましたが、19年度予算案にその増設のための事業費435億円が計上されたのです。増え続けるコンテナ取引量に対応するものですが、21年の横浜開港150周年に向けて、何とも幸先のいい話です。港湾関係の皆さんには、これを追い風に、さらに頑張っていたいただきたいものですね。

【1月7日(日)】

- 午前8時45分 ●羽田空港着
- 午前9時15分 ●JAL 1821便で羽田空港発
- 午前11時5分 ●北九州空港着
- 午後1時30分 ●しばた高博総決起大会
●北九州市泊

北九州市長選のために小倉入り。投票日の2月4日まで、私の肩書は自民党の北九州市長選担当副幹事長です。ここでの毎日は午前8時20分、しばた高博候補の選対本部での朝礼に始まります。それから地域情勢調査と事務処理、各区事務所激励訪問、総決起大会などの日程をこなします。まさに私は「小倉のひと」です。おかげで「玄界灘の味覚」に舌鼓を打つときもありますが、それはともかく、石にかじりついて市長選勝利!



▲1/4「横浜市会新年賀詞交歓会」で中田市長と



▲1/4 横浜船主会・横浜港運協会新年賀詞交換会にて



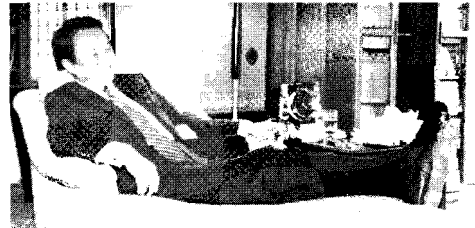
▲1/5 磯子区新年賀詞交換会（磯子スポーツセンター）にて



▲1/20 東京国税ニューイヤーパーティーにて

永田町日記 麻生さんの豪邸で、“アキバ系”に人気の原点を見ました

市長選応援のため北九州市に滞在中の一日、同じ福岡県の飯塚市にある麻生太郎外務大臣のお宅を訪問しました。麻生炭鉱といえば、石炭全盛時の筑豊御三家のひとつ。それだけに、これこそ豪邸！麻生さんの車に同乗して見えてきた小高い山を指して「あの山がおれのウチ」。「部屋数？いくつだったかなあ」。実に本邸2万坪、離れが2000坪。その書斎で「ゴルゴ13」の全巻を発見しました。今も毎週20～30冊のコミック誌を読むという麻生さん。総裁選で“アキバ系”の若者の人気を集めた原点を見た思いでした。(純)



まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国の形をつくるため奮闘。▶平成17年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に